

4 婚姻

平成18年の婚姻件数は3,305組で前年の3,345組から40組減少した。婚姻率（人口千対）は4.5で前年と同率である。

婚姻率の年次推移をみると、第1次婚姻ブームである昭和22、23年は14.0前後と高かったが、以後急激に低下していった。その後わずかに増加に転じ昭和33年には、7.9まで回復する。また、戦後のベビーブームに生まれた子供が適齢期に達した昭和47年頃は上昇したが、その後は年々低下し、平成元年には史上最低の4.4を記録した（図8）。

平均初婚年齢は夫が29.5歳、妻が27.5歳である。

図8 婚姻率の年次推移

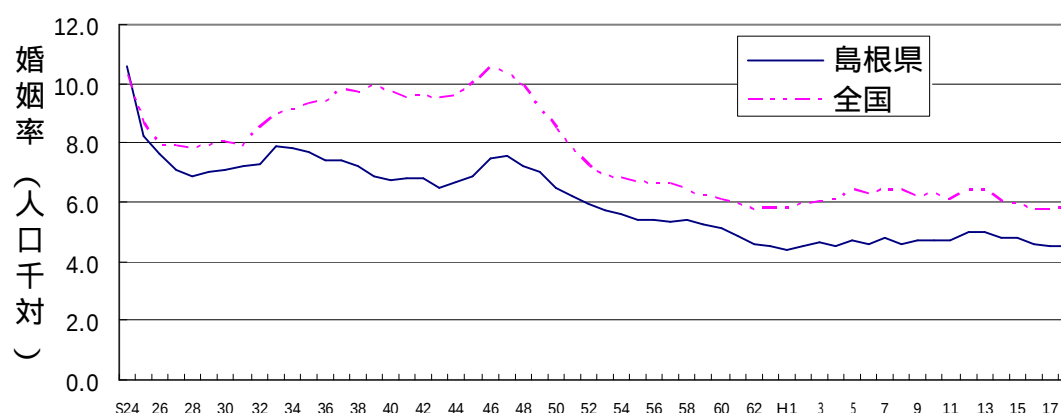


表6 平均初婚年齢の年次推移

	夫		妻	
	島根県	全国	島根県	全国
昭和 40	27.3	27.2	24.5	24.5
45	26.8	26.9	24.1	24.2
50	26.8	27.0	24.5	24.7
55	27.6	27.8	25.0	25.2
60	28.1	28.2	25.3	25.5
平成 2	28.4	28.4	25.7	25.9
3	28.4	28.4	25.8	25.9
4	28.4	28.4	25.7	26.0
5	28.4	28.4	25.9	26.1
6	28.3	28.4	25.8	26.2
7	28.4	28.5	25.9	26.3
8	27.3	28.5	26.1	26.6
9	28.3	28.5	25.2	26.4
10	28.4	28.6	26.4	26.7
11	28.3	28.7	26.3	26.8
12	28.3	28.8	26.6	27.0
13	28.4	29.0	26.6	27.2
14	28.7	29.1	26.9	27.4
15	28.8	29.4	27.0	27.6
16	29.0	29.6	27.2	27.8
17	29.1	29.8	27.4	28.0
18	29.5	30.0	27.5	28.2

5 離婚

平成 18 年の離婚件数は 1,199 件で前年の 1,124 組から 75 組増加した。離婚率（人口千対）は 1.64 で前年の 1.52 を 0.12 上回った。

離婚率の年次推移をみると、昭和 42 年までは低下傾向にあったが、その後は徐々に上昇し、昭和 59 年には戦後最高の 1.00 を記録した。その後増減を繰り返し、平成 3 年から再び増加していたが、平成 16 年から 2 年連続で減少し、平成 18 年にまた増加している。また、全国平均と比べるとはるかに低くなっている。（図 9）

図 9 離婚率の年次推移

